

## テクニカルレギュレーション 新体操

### 7. タイブレーク一般規則（オリンピックを除く）

これらのタイブレーク規則は、同点であった場合、どの選手、グループ、またはチームが勝利であるかの決定方法を定義する。

#### 7.1 個人 予選競技

##### 7.1.1 個人総合決勝競技の予選

同点の場合、個人総合決勝競技の予選では、順位は次の基準によって決定される：

1. 予選で得られた最高2つの最終得点の合計が高い選手（つまり、高い点数から2つの種目の最終得点の合計を加算する。）
2. 3つの高い点数の種目でのE得点の合計得点  
それでも同点の場合は、2つの高い点数の種目のE得点の合計を追加
3. 3つの高い点数の種目でのD得点の合計得点  
それでも同点の場合は、2つの高い点数の種目のD得点の合計を追加

それでも同点の場合は、同点順位となる。

##### 7.1.2 個人総合決勝

同点の場合、順位は次の基準によって決定される：

1. 合計したEスコア（4種目）が最も高い選手の勝利
2. 合計したAスコア（4種目）が最も高い選手の勝利
3. 合計したDスコア（4種目）が最も高い選手の勝利

それでも同点の場合は、同点順位となる。

##### 7.1.3 種目別決勝競技の予選

同点の場合、種目別決勝競技の予選では、順位は次の基準によって決定される：

1. Eスコアが最も高い選手の勝利
2. Aスコアが最も高い選手の勝利
3. Dスコアが最も高い選手の勝利

それでも同点の場合は、同点順位となる。

##### 7.1.4 種目別決勝競技

同点の場合、種目別決勝競技では、順位は次の基準によって決定される：

1. Eスコアが最も高い選手の勝利

2. Aスコアが最も高い選手の勝利
3. Dスコアが最も高い選手の勝利

それでも同点の場合は、同点順位となる。

## 7.2 団体 予選競技

### 7.2.1 団体総合の予選

同点の場合、予選／総合では、順位は次の基準によって決定される：

1. Eスコア（2種目）が最も高いグループの勝利
2. Aスコア（2種目）が最も高いグループの勝利
3. Dスコア（2種目）が最も高いグループの勝利

それでも同点の場合は、同点順位となる。

### 7.2.2 種目別決勝競技の予選

同点の場合、それぞれの種目（1手具での演技、2手具での演技）において、次の基準が適用される：

1. Eスコアが最も高いグループの勝利
2. Aスコアが最も高いグループの勝利
3. Dスコアが最も高いグループの勝利

それでも同点の場合は、同点順位となる。

### 7.2.3 種目別決勝競技

同点の場合、それぞれの決勝競技（1手具での演技、2手具での演技）において、次の基準が適用される：

1. Eスコアが最も高いグループの勝利
2. Aスコアが最も高いグループの勝利
3. Dスコアが最も高いグループの勝利

それでも同点の場合は、同点順位となる。

## 7.3 チーム対抗戦

同点の場合、チーム対抗戦では、順位は次の基準によって決定される：

1. チームで登録された10個のE得点（個人8演技＋団体2演技）の合計
2. チームで登録された10個のA得点（個人8演技＋団体2演技）の合計
3. チームで登録された10個のD得点（個人8演技＋団体2演技）の合計

4. チームで登録された演技から高い9個のE得点（個人8演技+団体2演技）の合計
5. チームで登録された演技から高い9個のA得点（個人8演技+団体2演技）の合計
6. チームで登録された演技から高い9個のD得点（個人8演技+団体2演技）の合計

それでも同点の場合は、同点順位となる。